

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月21日更新

事務事業名		老人憩の家維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	健康福祉部	課長名	花田 秀樹
	施策	2	行政改革の推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	12	公共財産の管理運営			所属班	介護保険班	(内線)	1163
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 6	事業連番 10437	根拠法令	合志市老人憩の家条例・同施行規則・同運営管理規程 指定管理協定書・		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成6年4月 高齢者の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として開館した。以来、入浴施設を中心に高齢者の教養娯楽施設として利用されている。 ○平成23年4月 入館(入浴)料金の市内150円を100円に引下げた。※市外400円(据え置き) ○指定管理期間 第1期(平成18年9月～平成21年9月)、第2期(平成21年10月～平成24年3月)、第3期(平成24～平成28年度)、第4期(平成29～令和3年度)
【業務の流れ】	【管理】○年度協定の締結(各年度の指定管理料額及び支払方法)、○モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認)、○50万円を超える修繕費負担等の協議、○指定管理料の支払(四半期毎) 【指定】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部会議一議会全協説明) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	委託料(指定管理料)、施設修繕負担金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	○指定管理者(市社協)に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営ができた。 ○障がい者駐車スペース整備に伴う費用を負担し、施設の適正な維持管理に努めた。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由 施設修繕負担金の減
→ア: 指定管理料		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民(利用者)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 →ア: 利用者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	不都合なく安全に利用してもらう	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % →ア: 施設・サービス等について満足と答えた割合
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
利用者アンケート(施設・サービス利用に対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え95%に設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込
①	活動指標	千円	12,000	12,000	12,000	12,111	12,222	12,222	12,222	12,222
②	対象指標	人	61,964	61,565	63,000	58,188	63,000	63,000	63,000	63,000
③	成果指標	%	96.2	97.5	95	98.2	95	95	95	95
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	14,643	15,764	12,519	12,639	13,488	14,701	27,000	12,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特動	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	110	290	60	150	200	60	60	60
	(B)人件費計	千円	435	1,143	239	594	796	239	239	239
	トータルコスト(A)+(B)	千円	15,078	16,907	12,758	13,233	14,284	14,940	27,239	12,239

事務事業名	老人憩の家維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 指定管理者から、「不満足」と指摘があった事項の内容を確認し、適切に対応することとしている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、上位の満足度に上げることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。 ふれあい館と温泉源を共用していることやふれあい館に広域避難所等が開設された時の対応などを考慮すると、ふれあい館の指定管理者による一体的な管理運営が望ましい面もある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の指定管理料の設定であるため、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設を利用できる者は原則60歳以上に限られるが、老人福祉の向上を目的とする公共施設であることから公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の所有する老人のための施設であり、指定管理者制度による管理運営が行なわれており適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

施設の設置目的に沿った運営がなされ、レジオネラ菌の発生や利用者の重大な事故もなく良好な運営状況である。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月は入浴のみの利用に制限した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						